



新春1月例会 「恵下山公園整備」 1月22日(日) ～子ども達が楽しく安全に遊べる公園に～

参加者 48名(会員 34名 地域 14名) 報告：3班 原田 澄

恵下山支援 15年目。支障木(ナラ枯れ)や雑木等を伐採。空が広がり、ますます森が明るくなりました。



■今年初の例会は、たくさんの方々の参加があり、盛会のうちに終わりました。2004年から「ふるさと恵下山見守り隊」を支援して早15年。うっそうと暗か^{はや}った森が回を重ねる毎に明るく見晴らしも改善され、地域の幼稚園や小学校の子ども達が散歩や遠足に集い楽しむ姿は、とてもかけがえのないものとなっています。

今回の主な整備の目的は、ナラ枯れ等による支障木や低木の伐採を行うことです。事前に担当班の土谷さん、助っ人班の秋武さんが地元と打ち合わせを行い伐倒予定木にテープで印を付け当日を迎えました。

■例会を開催する前には、まず、先方と打ち合わせを行って整備の内容を検討し、必要な機材の準備に当たります。例会の運営は、各班が持ち回りで担当しますが、何よりも班のメンバーの協力が必要です。例会を担う時は、班全員が主役と思って臨みたいものです。

■当日は、各グループに分かれ作業を行いました。A～D班は各エリア内の枯損木や雑木の処理、E班は昼食のための料理を担当。地域の方もそれぞれの班に加わり活動に参加しました。テープを巻かれた伐倒木の多くは高さ15～20m、直径30～50cm程のどれも強者揃いで、

足場も悪く倒す前のロープ掛けに悪戦苦闘が続きましたが、皆の一致協力の下、怪我無く目的を達成することができました。一部、伐倒して未処理状態の樹木がありましたが、後日、理事長他数名で処理活動を行いました。残りは今年度中に有志を募って片付けを終える予定です。

■反省会では、作業開始前に「チェーンオイルタンクとガソリンタンクを双方に間違えてガソリンとオイルを注入」「作業中にチェーンソーから白煙が上がるトラブル発生」との報告がありました。いずれも単純なミスであるが故に、今一度防止対策を周知徹底する必要があります。

■私たちは、プロではなくボランティア活動の一環としてチェーンソーを使用します。もちろん講習を受け資格を取った上での作業となりますが、使用の頻度はとても低いものです。本を読んだり動画を見たり普段から興味と関心を持って学ぶ事は大切です。ピンチはチャンス！機会を活かしていきましょう。

最後になりましたが「ふるさと恵下山見守り隊」の皆さん、倶楽部の皆さんお疲れさまでした。新年の良いスタートが切れました。今年も、元気を出していきましょう。



一日の始まりは朝のミーティングから。山本理事長あいさつ。



雑木整理で見晴らしを取り戻しました。



いつも安全を喚起して下さる鎌田さん。



班ごとに準備された機材)



ロープかけに悪戦苦闘&無事に倒したコナラ(右上)



皆でたき火を囲んでの昼食。熱々の豚汁が美味しい！